

飯田市新型コロナウイルス感染症対策
第7回 専門家会議 議事録(概要)

令和3年4月 28 日(水)13:15～14:15
於:飯田市役所 2階 第2委員会室

市長あいさつ

ゴールデンウィークを控える大変お忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。

前回は、オーケストラ友に音楽祭をはじめとするイベントについて、新型コロナウイルスの感染症対策をどのように行えば良いかご意見を頂戴致しました。オケ友につきましては、専門家会議の内容をお伝えし、再度検討をお願いしていたわけですが、昨日、ゴールデンウィーク中に開催を予定していた催しについては実質的に中止という苦渋の決断をされたと発表がありました。専門家会議からの意見を真摯に受け止めていただいた結果と思っております。本日も夏に向けて実施を検討しているいくつかのイベントについて、それぞれの実行委員会で検討しているコロナ対策の説明をさせていただき、ご意見を伺いまして、実行委員会にお伝えしたいと思っておりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

なお、26 日(月)に、ゴールデンウィークを前に市民の方々へ市長メッセージを出させていただきました。お手元にお配りしておりますので御覧をいただきたいと思っております。

協議(以下、市長は座長となります)

(座長)

先ほど申し上げましたように、本日も前回に続きまして、イベントについての感染対策をお諮りしたいと思います。これから各実行委員会で検討中の感染対策の内容をご説明させていただき、この場でいただいたご意見を実行委員会の方にお返しして、最終的に決定いただきます。それでは始めに「飯田りんごん」、引き続き「時又灯ろう流し」について観光課からご説明させていただきます。

(宮沢観光課副参事) ※飯田まつり第40回飯田りんごん事業計画(案) 参照

飯田まつり第40回飯田りんごん事業計画(案)のコロナ対策をご説明させていただきます。資料2ページになりますが、期日は8月7日(土)を予定しています。時間は例年より短縮し、午前11時から午後7時15分を予定しています。今年度の方針ですが、新型コロナウイルス感染症対策の方針に沿い、まつり参加者と関係者が安心して参加できるまつりを考えています。また、まつりの歴史が途切れないように何とか実施に向けて進めてまいりたいと考えています。感染症対策ですが、感染警戒レベルに応じた判断をしたいと考えています。6月末に第2回の実行委員会での判断と、その後、開催ぎりぎりまで感染警戒レベルの状況をチェックする中で、適切な判断をしていきたいと考えています。続いて、具体的な感染症対策です。催し物箇所など人が集まる場所については、7ページの図のように、バリケード等で囲み、人数制限をさせていただく予定です。特にふれあいアップルタウン、商店街で行う人形劇等の観劇の場面、出店の店舗位置では待っていただく間隔を広げること、飲食は安全が確保された場所のみということで、距離をとれるよう対策をしたいと考えています。飛沫感染防止のために参加者及び関係者のマスク着用を原則とし、大きな声は控えるようにPRします。また、まつり会場内についても、限られた場所での飲食だけを認め、出店や露店についてはテイクアウトのみを考えております。また飲酒、酒類の販売、持ち込みは禁止とさせていただきます。踊りの参加者は飯田下伊那にお住いの方に限らせていただき、事前に申し込みをい

ただ中、2週間前からの健康チェック、当日の体温測定等、健康管理を確認したうえで参加をいただきたいと考えています。また、体調不良の方は参加を控えていただくこと、まつり直前まで体調管理をしっかり行っていただくことを周知していきます。続きまして踊るコースですが、今年につきましては4ページにありますとおり、2つのコースに分け、一方通行の形を考えています。一つが中央通り4丁目から伝馬町1丁目までの間、もう一方が知久町4丁目から銀座3丁目までの間という2コースになります。また分散のため5つのグループに分け、時間を区切って一つのコースで1回あたり450名を上限として交代で踊っていただく形を考えています。暑い時期となるので、時間も短時間とし、小学生は15分または20分、大人は25分までとします。隊列は横並びで4名が一方通行で進む形で実施をしたいと考えています。続いて露店の関係ですが、例年は数多くの露店出店するわけですが、今回は出店場所を限定させていただきます。りんご並木に間隔をおいて出店いただいて、テイクアウトのみの販売を考えています。また、広報宣伝活動の中でもコロナ対策についてしっかりPRして対応していきたいと考えています。

続きまして、飯田時又灯ろう流しの計画(案)になります。8ページをご覧ください。期日は8月16日(月)を予定しています。今年の方針は、「with コロナ」の時代における新たな花火大会の模索、また参加者と関係者が安心して参加できる花火大会とする。まつりの「思い」「歴史」「伝統」を途切れないようにつなげていくという考えです。感染警戒レベルに応じた開催判断ですが、感染警戒レベル4を基準として、開催のぎりぎりまで準備をしていきたいと考えています。感染症対策ですが、花火会場となる時又港については、10ページの図のように人が入れる場所をバリアード等で囲み、人数制限及び入場管理をしていく予定です。入場ゲートで入場者のチェックをし、上限1,000人の観客を想定しています。来場の際には検温と健康状態に不安のある方や8ページに記載の方は入場を控えていただくように周知していきます。誘導人員を配置し、密としないよう配慮します。また、飛沫感染防止のため、参加者及び関係者のマスク着用を原則とし、大声も控えていただきます。会場内での飲食も原則禁止とし、飲酒・酒類の販売及び持ち込みも禁止とします。花火大会は、市民の皆様から応援金を募集し、応援金に賛同いただいた方の中で入場を希望する方に優先して入場いただくこととし、人数管理をしていきたいと考えています。このようなことから道路の制限も最低限とし、露店等の出店場所も設けないこととします。以上、説明とさせていただきます。

(座長)

今の2つのイベントは、基本的にはこの地域の人たちが集まるイベントになろうかと思います。説明にありました感染症対策を考えているということです。これらの案につきまして、ご意見を賜りたいと思います。

(委員)

対策はしっかりとられていると思いますし、屋外で行う条件も良いかと思います。従来から続けてきたイベントをできるだけ開催できるようにできたらと思います。入場制限やそれなりのルールがしっかりされているので、開催に向けて準備をしていくことに共感させていただきます。

(委員)

質問ですが、どれくらいの人が集まることを想定しているか規模を教えてください。

(宮沢観光課副参事)

例年ですと飯田りんごでは踊りの参加者が8,000人ほどですが、今年は半分ほどを想定しています。また観覧者も同じく8,000人ほどいますが、今年は相当少なくなるかと思っています。時又灯ろう流しは、先ほどの入場区

域内に3,000人から4,000人入れる想定です。ただ花火は広範囲で見ることが出来るので例年ですと主催者発表は数万人としています。

(委員)

記載のように感染警戒レベル3以下で実施ということですが、感染警戒レベル3は10万人あたり15人くらいの感染者が1週間で出ている状態を想定していますが、これを1,000人あたりにすると0.15人なので、6,000人集まると1人くらい感染者がいるという計算になります。このように感染状況は具体的に数字でとらえ、これくらい的人数が集まれば1人くらい感染者がいるということを想定して対策を考えることも必要かと思います。今回の説明でも人にうつさないための対策もありましたので、よろしいと思います。

(委員)

私も良いかと思います。参加者や市民全員がコロナや公衆衛生に意識を持った上で、前向きにイベントを行うということを理解してもらえればと思います。

(委員)

このイベントをなぜ行うかということも重要だと思います。イベントの意義もしっかり考えていただきたいです。もう一つ重要なことは、この時期はオリンピックが予定されています。オリンピックが開催された場合、今までと同じような感覚ではいられないと思います。実施の判断は感染警戒レベルだけでなく、オリンピックの開催の可否やオリンピックによる人の移動も想定することも必要かもしれません。また、ワクチン接種も始まっていますのでその辺も開催判断の材料になるのではないのでしょうか。

(座長)

ワクチンの状況ですが、8月頭までには大方の高齢者の接種が終わっているようにという時期かと思いますが、この件については後ほど共有させていただきたいと思います。

(委員)

コロナの発症から1年以上が経ち、抑圧期間が長くなるほど人々の不安と不満の風船が膨らんで、一発触発の状況が生まれやすくなっていると思いますので、従来からのお祭りやイベントも、感染対策をしっかり行いながら、安心・安全に出来るだけ開催できる方向を考えるしかないかなと思います。また、都市部の様子を見ても、路上飲みの問題も出ています。お祭りやイベントを実施した場合にもその点の対応を考えておいた方がよいと思います。また、例年飯田りんごんでは人権擁護委員が啓発活動を行っています。今年はコロナに関する誹謗中傷の啓発活動を行いたいと思っています。この啓発活動が実施可能か検討いただければと思います。

(座長)

市長の立場としては啓発活動をぜひ行っていただければありがたいと思いますが、実行委員会で改めて決めたいと思います。この地域の方々にお集まりいただく2つのイベントは、この方向計画を進めてよいのではというご意見をいただきました。また、路上飲食やオリンピック等の関係など、ご指摘いただいた意見については、実行委員会に伝えていきたいと思っています。続いて、前回もお諮りしている「いいだ人形劇フェスタ」について、前回の意見を踏まえて実行委員会で整理した部分があります。こちらのイベントの時期は飯田りんごんと同じですが、参加

者が圏域外の方との行き来もありますので、先ほどと別に協議させていただきます。それでは、「いいだ人形劇フェスタ」について説明させていただきますので、ご意見をいただければと思います。

(下井文化会館館長) ※いいだ人形劇フェスタ2021 感染対策 参照

11ページをご覧ください。開催期間ですが、8月5日(木)～8日(日)を予定しています。中止の判断は前回から変更となっています。まず判断時期ですが、6月末頃を一つの目安としています。この地域に感染警戒レベル4以上が発出された場合は中止。その後も状況が変われば会議を招集し、その場で判断するということになりました。それから地域外の劇団への対応ですが、前は海外劇団を2劇団招聘するということでしたが、検討の結果、今年は海外劇団の招聘は行わないこととなりました。それから国内劇団の参加についてですが、緊急事態宣言又はまん延防止等重点措置が発出された地域、直近1週間当たりの新規感染者数が人口10万人当たり15人以上の地域、飯田に來られる2週間の間に緊急事態宣言又はまん延防止等重点措置が発出された地域に立ち寄る予定がある方は参加をお断りする予定です。これら以外の地域から参加いただく劇団ですが、抗原検査を受けていただくことを予定しています。医療機関での受診が望ましいですが、現実的に時間が不規則で難しいということで、検査キットでの対応を考えています。それから地区公演での交流会は自粛、飲食の機会は慎重な行動を呼びかけるということです。観劇者の対策ですが、劇団と同様を考えておりますが、抗原検査はできるだけ受けていただくようにご案内をさせていただきます。このほかの記載事項は前回と同様になります。

(座長)

前回との大きな違いは、海外劇団の招聘は行わないということ、来飯をお断わりする劇団の対象を整理させていただいたということ、検査キットを使って抗原検査を行うということです。これらにつきましてご意見をお願いします。

(委員)

検査キットの検査方法ですが、その時に監督者がついて実施する等具体的な手順は決まっているのでしょうか。劇団にキットを渡すだけでは、検査の精度に不安が出てしまうと思います。

(下井文化会館館長)

文化会館で劇団の受付を行う際に検査キットを配る予定ですが、監督者を配置する想定はしていませんでした。検査の精度に不安が出ないように対策をしたいと思います。

(松下教育委員会参与)

補足させていただきますが、抗原検査の会場責任者が配置されていますので、招聘劇団の抗原検査については会場責任者が立ち会い確認することが必要だと思います。また劇団によっては、期間中滞在することもありますので、長期滞在劇団については、1日1回の検査をお願いする方向で実行委員会では検討しています。

(委員)

おそらく検体採取はご本人にお願いするかと思います。検査の信頼性が一番重要だと思いますので、自己

検査の精度が守られるように医療従事者への依頼等も含めて考えてもらいたいと思います。

(委員)

大勢の子供たちが人形劇フェスタを楽しみにしています。ケーブルテレビで配信する予定はありますか。

(下井文化会館館長)

今のところ予定はありませんが、実行委員会で検討させていただきます。

(委員)

劇団の宿泊場所はどこになりますか。

(下井文化会館館長)

例年ですと公民館に宿泊ということがありますが、今年は公民館宿泊を行いません。ですので、ホテル等の宿泊施設にお泊りいただくこととなります。

(委員)

そうすると宿泊施設にも感染対策を徹底してもらう必要があると思います。そのほか劇団同士の交流に関することも検討が必要かと思います。

(委員)

こちらもどれくらいの規模かということもありますが、もし劇団側に感染者がいたとしても、そこから観客等にうつらないように対策をしっかりとしてもらえればと思います。

(委員)

私も感染対策にしっかり留意してもらえれば良いかと思います。やはりこういう行事は続けることに意味もあるかと思うので、そののところにも主眼をおいていただきたいしたいと思います。

(座長)

ありがとうございました。検査の精度、動画での配信、宿泊・飲食関係者等へのお願いなど実行委員会にしっかり伝えていきたいと思います。そのほか全体を通してありますでしょうか。

(委員)

市長メッセージの最後にワクチン接種の記述がありますが、ワクチン接種が始まるこの時に感染拡大が起きたら接種自体に滞りが起こるということ、ぜひこの圏域の皆さんにお伝えしていただきたい。ワクチンへの期待感は非常に大きいと思います。感染拡大によってワクチン接種が滞った場合に備えて、踏み込んでこの部分を伝えた方がよいと思います。

(座長)

ありがとうございます。関連してありましたらお願いします。

(委員)

テレビ等でワクチン接種の報道がされていますが、飯田市ではどうなっているか心配している方たちもいます。しっかりと飯田市のワクチン状況のわかりやすく情報発信を行っていただきたいと思います。

(座長)

ありがとうございました。ワクチン接種に関する市民向けのメッセージを行いたいと思います。それではおおむね時間となりました。本日も本当にお忙しい中、貴重な意見をいただきました。また次回以降もお願いします。ありがとうございました。